

# 株式会社ジェイコム湘南・神奈川 町田・川崎局

## 2019年度 放送番組審議会 議事録

2019年度の放送番組審議会は、2020年3月24日(火)に町田・川崎局で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

—ご出席—

小山 均 様      福原 信広 様      北條 秀衛 様      横田 まさお 様

事業者側から局の現況、及びJ:COMチャンネル(11ch)とJ:COMテレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】(北條会長による進行)

### ◆地域情報の出し方

**委員** J:COMは地域に密接に根差している。機動力や技術力は準民放レベルがあると思っているが、番組内容や出演者レベルは地方局に近い印象。もう少しレベルが高くなっても良いかと思う。

**委員** 民放では同じような番組ばかりで見たいものがない。ケーブルテレビらしく、地域資産を番組に出来ればと思う。

**事業者** テレビは視覚で入ってくるものなので、クオリティはある程度担保させる必要がある。情報の背景も伝えられるようにスタッフのスキルを上げていきたい。「J:COMチャンネルは地域情報を流しているチャンネルなんだ」と認識してもらえるよう、今後も地域ニュースにこだわりたい。

### ◆プロモーション

**委員** イベントにカメラが入ると地域の方は喜ぶと思う。ただ、放送日などのプロモーションはもっと積極的にした方が良い。地元ならではの、横のつながりが強い地域なので、見てもらえることでクライアントも増えるのではないか。

**事業者** プロモーションがまだまだ足りないと認識しているので、継続して努力したい。

**委員** 自分自身の生活の時間が不規則なので、番組を見逃してしまうことが多い。デイ

リーニュースは夜遅くに再放送しているので、もっと周知したほうが良い。

**事業者** チャンネルと放送時間を、親しみやすく「合言葉」のようにすると覚えてもらえるかもしれない。あるCSチャンネルでは、毎日決まった時間に帯びで同じ番組を放送しており、視聴者はより放送時間が覚えやすくなっている。

#### ◆番組の見せ方

**委員** 生放送をもっと増やした方が、興味を持って見てもらえるのではないか。

**委員** デイリーが中心のようだが、番組自体が少ないと感じた。例えば、岡本太郎美術館やアルテリッカそのものを紹介する中継などがあっても良い。

**委員** デイリーニュースの放送時間が短く感じる。日によっては、次の予告が入らないことがある。もっと長くても良いのではないか。

**事業者** 現場が2人程度で中継できる簡易中継システムを導入した。例えば、デイリーニュースの時間を長くし、番組内で生中継することで番組の幅を広げることができる。その際、取材先の方に説明をしていただければ、こちらの足りない部分などを補っていただけと思う。

#### ◆新型コロナウイルスの影響

**委員** 台風や今回のコロナ問題を情報発信のチャンスと捉えることができないか。閉塞感をプラスにするアイデアが大事。考え次第で、ものごとをポジティブに打ち出していけると思う。

**委員** スポーツ大会が軒並み中止となっている。大会がなくなり、「無念」ということだけでなく、大会に出られない選手の練習風景やインタビューなどを番組にすれば差別化にもつながる。やはり視聴者はスポーツを見たいと思う。

**事業者** コロナ問題を受け、いくつか企画を考えている。例えば、今年は花見を自粛する人が多いと思われるので、デイリーニュース内で、神奈川各地のサクラの映像をたっぷりお伝えするコーナーを放送する。また、休館中の美術館などの作品を撮影し、開館に向けて紹介するなどのコーナーを行っているところもある。

**委員** NETでの配信が主流になりつつある。情報の出し方もかわってきているので、時代に合わせる必要がある。

**事業者** 委員の皆さまからのご意見、活発な審議ありがとうございました。今後の番組制作に役立てていきたいと思ひます。

以上